



① 永年勤続優良従業員表彰のご案内

郡上市商工会 LINE公式アカウントを開設しました！

QRコードを読み込んで、ぜひ友だち追加をお願いします

経営支援施策の最新情報をいち早くお知らせします！



令和6年3月31日時点

支援内容	4月相談日	支援内容	5月相談日
経営	8日(月) 26日(金)	経営	10日(金) 22日(木)
法律	24日(水)	法律	31日(金)
税務	9日(火)	税務	14日(火)
労務	10日(水)	労務	8日(水)
知財	19日(金)	IT	17日(金)

融資制度名	利率 (%)	保証率 (%)	適用
経営改善貸付	1.30	—	
普通貸付	1.20~3.30	—	
創業ローン	1.20	—	創業
市チャレンジ	1.9	0.8	創業
支援融資	2.1	0.45~1.9	異業種
市小口融資	0.75	0.5~2.2	

《出張所カレンダー》

曜	4月					5月					
大和	火	2	9	16	23	30	7	14	21	28	
白鳥	木	4	11	18	25		2	9	16	23	30
高鷲	水	3	10	17	24		1	8	15	22	29
美並	木	4	11	18	25		2	9	16	23	30
明宝	火	2	9	16	23	30	7	14	21	28	
和良	水	3	10	17	24		2	9	16	23	30

※ 都合により出張所開設日であっても閉所させていただくことがあります。ご理解のほど宜しくお願いいたします。

【移動のお知らせ】

退職者

(令和6年3月31日付)

指導員 一 二 三 卓朗



## 小規模企業景気動向調査 [2024年1月期調査]

～高止まりするコストに続き、震災や暖冬の影響で改善傾向に歯止めがかかる小規模企業

### <産業全体>

1月期の産業全体の景況は、採算 DI がわずかに改善し、資金繰り DI が小幅に改善した一方で、業況 DI が小幅に悪化し、売上額 DI が大幅に悪化。全産業で売上額 DI が悪化した。前年同月比で見ると、全 DI が改善し、採算・資金繰り・業況 DI においては2桁ptの改善をしているものの、コスト高騰に加え、一部では震災や暖冬での積雪量減少による影響も見られ、改善傾向に歯止めがかかった。

	DI	12月	1月	前月比
売上額		15.3	8.1	▲ 7.2
採算	▲	18.0	16.8	1.2
資金繰り	▲	16.9	14.1	2.8
業況	▲	9.2	11.3	▲ 2.1

### <製造業(食料品、繊維、機械・金属)> 業種ごとにバラつきはあるが、引き続き好調を維持する製造業

製造業は、資金繰り DI が小幅に改善、業況 DI が小幅に悪化し、売上額 DI が大幅に悪化した。食料品及び繊維関連は、売上額 DI が大幅に悪化した一方、前年同月比では、売上額 DI が2桁pt超の大幅改善と好調であった。人手不足の影響からの機会ロスや、人件費高騰への対応に苦慮しているとのコメントが目立つ。機械・金属関連は、全 DI が悪化に転じ、売上額 DI が大幅に悪化。メーカーの生産ラインが、調整により停止しているとのコメントがあった。

	DI	12月	1月	前月比
売上額		17.6	10.5	▲ 7.1
採算	▲	17.4	17.8	▲ 0.4
資金繰り	▲	17.0	13.9	3.1
業況	▲	7.8	10.4	▲ 2.6

### <建設業> 民間・公共事業を中心に好調も、人手不足が深刻化する建設業

建設業は、売上額 DI が小幅に悪化、採算・資金繰り・業況 DI は改善を示した。売上額 DI は、前年同月と比較すると2桁pt超の大幅改善となった。民間・公共工事ともに受注が増加しており、他業種に比べて好調を維持している。一方で、以前にも増して、人手不足の問題が深刻化しており、思うように売上アップに繋がっていない。能登地震の復興需要が本格化すれば、さらに人材確保難が深刻化するとのコメントがある。

	DI	12月	1月	前月比
売上額		15.6	12.4	▲ 3.2
採算	▲	21.9	19.7	2.2
資金繰り	▲	22.7	15.7	7.0
業況	▲	12.2	12.0	0.2

### <小売業(衣料品、食料品、耐久消費財)> 前年比2桁改善も、物価高による消費低迷が課題の小売業

小売業は、採算 DI がわずかに改善した一方で、業況 DI が小幅に悪化、売上額 DI が大幅に悪化した。前年同月比では売上額は改善している一方で、他業種と比較すると、全 DI で弱さがみられる。衣料品及び食料品関連は、売上額・業況 DI が大幅に悪化した。高単価商品の買い控えなど、物価高による消費低迷が、大きく影を落としている。耐久消費財関連も売上額 DI が大幅に悪化。7期連続でプラスを維持していたが、マイナスに転じた。消費低迷に加え、暖冬による暖房器具等の需要低下がみられる。

	DI	12月	1月	前月比
売上額		11.2	2.0	▲ 9.2
採算	▲	22.1	21.0	1.1
資金繰り	▲	18.4	18.6	▲ 0.2
業況	▲	13.7	17.3	▲ 3.6

### <サービス業(旅館、クリーニング、理・美容)> 震災の影響も見られ、業況回復への道のりは遠いサービス業

サービス業は、採算・資金繰り DI がわずかに改善した一方で、業況 DI が小幅に悪化し、売上額 DI は大幅に悪化した。旅館関連は、資金繰り DI がわずかに改善した一方で、売上額・業況 DI が大幅に悪化。インバウンド需要は好調だが、能登半島地震により、予約キャンセルが相次いでいる。クリーニング関連は、採算 DI が大幅に改善した一方で、売上額 DI が大幅に悪化。旅館業での予約キャンセルがリネンの減少に繋がり、売上が減少した、とのコメントがみられた。理・美容関連は、採算・資金繰り・業況 DI がわずかに改善した一方で、売上額 DI が小幅に悪化。業況は横ばいで推移している。

	DI	12月	1月	前月比
売上額		16.9	7.5	▲ 9.4
採算	▲	10.6	9.0	1.6
資金繰り	▲	9.6	8.0	1.6
業況	▲	3.1	5.7	▲ 2.6

#### 調査概要

・調査対象：全国302商工会の経営指導員(有効回答数：226/回答率74.8%)

・調査時点：2024年1月末

・調査方法：対象商工会経営指導員による調査票への選択記入式

※ DI(景気動向指数)は各調査項目について、増加(好転)企業割合から減少(悪化)企業割合を差し引いた値を示す。